

就活を振り返って

第4期 OG 志賀 明奈

社会人になってもうすぐ早4年。小野先生の下でマーケティングを学んでいたころがとても懐かしく感じられます。何となく入った商学部の授業に、何となく出ていた2年生の時、オープンゼミで見た先輩方があまりに素敵で選んだ小野ゼミ。少しでも近付きたくて、必死に課題をこなしているとあっという間に時間が過ぎ去っていきました。サークルやバイトに明け暮れていた日吉でのキャンパスライフとは全く異なる毎日は、睡眠不足が辛い時もありましたが、非常に充実したものだったと思っています。間違いなく、小野ゼミは私の三田生活の中心にありました。

さて、私は現在銀行のリテール部門でファイナンシャルプランナーとして働いています。簡単に言えば金融商品の営業で、一日の業務は顧客との商談が中心です。正直、就職活動を始めた当初希望していた業種でも職種でもありません。今と比べれば就職活動はしやすい時期だったとは思いますが、なかなか思うようには行かず、最後に内定をもらった今の会社に行くことになりました。ゼミ活動にかなり力を入れていたつむりの私は少し納得できず、ちょっぴり憂鬱な内定時代を送りました。しかしながら、入社してみると、お客さまとのリレーションの深さが重要となる銀行の営業には思ったよりやりがいを感じられ、何より、毎日いろいろな人と会い、話す今の仕事はとても楽しくかつ自分に向いていると今では思っています。逆に、就活当初希望していたような仕事は私には務まらないし、もし何かの弾みで志望通りの就職が出来ていたとしてもミスマッチに苦しむことになっていたかもしれないとさえ思います。もちろん、同じ会社の同期でも仕事上のストレス等から早々と転職や退職も決めた人たちもいるので、今の私の仕事が特別やりやすいということでもなく、やはり職業を決める上で適性は非常に重要であると改めて感じています。仕事の内容だけではなく、職場の人間関係も比較的良好で、その点についても今の会社で働くことができてよかったと感じています。プライベートの時間ももちろん楽しみですが、良い同僚、上司に囲まれているお陰で仕事の時間も毎日快適に過ごしています。



著者近撮

入社試験を受ける際、今の会社に対して小野ゼミに感じたような憧れや強い印象は持てなかった私ですが、今は現状にとっても満足しています。就職活動は必ずしも優劣だけを争うものではなく、企業も学生も互いに相性の良い相手も探す場だと認識できていたら、もっと有意義な就職活動が経験できたものと思います。就職氷河期とも言われているこの時代に少し綺麗事かもしれませんが、これから就職活動をする小野ゼミの皆さん、一度きりの新卒の就活をぜひ楽しみながら、自分に合った企業を探してみてください！